



阿紀神社の本殿と能舞台（手前） 宇陀市で



阿紀神社 (宇陀市)

(住所) 宇陀市大宇陀迫間252

(祭神) 主に天照大神

(交通) 近鉄榛原駅から奈良交通バス「大宇陀迫間」下車徒歩

ス「大宇陀迫間」下車徒歩

約10分

(拝観) 境内自由

(駐車場) あり

(電話) なし

天照大神の鎮座地を求めて各地を巡幸した際、祭られた場所の一つが「宇多の吾城（阿騎）宮」です。こちらで4年間大切にお祭りされた後、さらに各地を巡幸して、ついに五十鈴川の川上に鎮座



古文書によると、垂仁天皇の皇女・倭姫命がしたと伝えられています

す。これが伊勢神宮の起源とされ、阿紀神社は「元伊勢」の一つと呼ばれてきます。杉木立に覆われた境内には、本殿とともに、現在では非常に珍しい屋外の能舞台があります。この能楽は、1992年に再開されました。「あきの蛸能」として上演され、2026年で第32回を迎えます。

この能の最大の見どころは、終盤の幻想的な演出です。舞台の明かりが全て消されると、宇陀高校生による「蛸姫」の手によって、数百匹の蛸が放たれます。漆黒の闇の中に光の放物線が描かれ、鎮守の森へと吸い込まれていく光景は、見る者を幽玄の世界へと引き込まないです。（奈良まほろばソムリエの会副理事長 松浦文字）

元伊勢に織田氏の能舞台

元伊勢に織田氏の能舞台

松浦文字